

令和 7 年度 第 1 回東郷町地域ケア推進会議：議事録

日時	令和 7 年 5 月 2 2 日（木）14 時 00 分～15 時 35 分
場所	東郷町役場 2 階 大会議室
出席者	委員 ※敬称略、順不同 横井昭博 歯科医師（愛豊歯科医師会東郷支部） 佐藤裕美 薬剤師（東郷町薬剤師会） 福島美佐子 訪問看護師（東郷町訪問看護ステーション連絡協議会） 古橋完美 瀬戸保健所 健康支援課 森本美香 くらし健康部 保険医療課 成人保健推進室 荒川和枝 東郷町南部地域包括支援センター東郷苑 制野司 有識者（学校法人柳城学院） 村井良則 有識者（東名古屋医師会医療介護総合研究センターやまびこ） 池田寛 有識者（豊明東郷医療介護サポートセンターかけはし） 半田清春 東郷町民生委員児童委員協議会 野々山次夫 東郷町民生委員児童委員協議会 岡田伸一 施設サービス関係（愛厚ホーム東郷苑） 朝倉隆行 居宅サービス関係（メドック東郷） 松山陽二 居宅介護支援事業所（もみの木） 小島通範 住民代表（第 1 号被保険者）
欠席者	松浦誠司 医師（東名古屋東郷町医師会） 柳ゆかり 理学療法士（東郷町リハビリテーション連絡協議会） 磯村達己 東郷町社会福祉協議会 早川孝志 東郷町北部地域包括支援センター 海老原由美 住民代表（第 2 号被保険者）
傍聴者	1 名
事務局	福祉こども部長 高齢者支援課長（進行） 高齢者支援課職員 4 名
議題	1 あいさつ 2 委嘱状交付 4 在宅医療・介護連携推進部会の部会長及び部会委員の指名 3 報告事項 （1）令和 7 年度の事業計画について （2）第 10 期東郷町高齢者福祉計画策定スケジュール（案）について （3）各職能団体からの取組等の報告について 4 議題 東郷町の地域課題について 5 その他

配布資料	次第	
	資料 1-1	令和 7 年度事業計画（新規事業、見直し事業、重点事業のみ）
	資料 1-2	第 10 期東郷町高齢者福祉計画 策定スケジュール
	資料 1-3	令和 6 年度介護保険サービス等進捗状況
	資料 2-1	令和 6 年度の地域課題まとめ
	資料 2-2	令和元年度から令和 6 年度分 地域課題集計表
	資料 2-3	令和元年度から令和 6 年度分 地域課題集計表詳細（参考）

1 あいさつ

2 委嘱状交付

3 在宅医療・介護連携推進部会の部会委員の指名

4 報告事項

(1) 令和 7 年度の事業計画について

(2) 第 10 期東郷町高齢者福祉計画策定スケジュール（案）について

事務局	資料説明。資料 1-1、資料 1-2、資料 1-3
委員長	計画なので、重要な部分になると思う。多くて最初の方を忘れてしまったこともあると思うが、どこの部分でもよいので、ご質問等あればお願いする
委員	資料 1-1 の一番最後、その他のところだが、参考までに教えてほしい。(1)と(2)それぞれ対象者がおおよそ何人くらいわかるか。
事務局	具体的な人数という、まず(1)の避難行動要支援者名簿の要件として一定の身体障がいと要介護 3 以上の方、または 75 歳以上の要件があるが、具体的な数値はまだない。
委員	何人いるか、千人居るかわからないが、かなりの数になると思う。 参考までに、もし電子@連絡帳を使って情報共有する場合に、避難行動要支援者も含めて共有をするとすると、かなりの登録数になるし、共有するために同意が必要でハードルが高いし、登録自体 IIJ に登録をお願いするとお金がかかると思うが、そこができれば医療関係者にも共有できる。 今のところ瀬戸市は実際に電子@連絡帳を使って情報共有をしている。 東郷町だと訪問看護連絡協議会で例えば人工呼吸器を装着されている人などの情報を集めたと思うが、そういった情報を関係者に共有できると電子@連絡帳が有効かと思うが、お金の問題や同意書をとらないといけないとなると難しいと思うが、ほかの地域では電子@連絡帳を使用しているということを共有したい。
委員長	ありがとうございます。他に何かあるか。
委員	資料 1-3 で聞きたいことがある。先ほど 2 ページ目の総合事業が増えているとのことで、私が携わった時にちょうど総合事業ができた第 6 期や第 7 期で、なかなか利用が伸びなかったが、介護予防・日常生活支援総合事業が伸びてきたとい

	うのは制度の周知がされてきたのではないかと思うことが1点と、早い内から総合事業を使った方がいいよということで使い始めた方がいるのかどうなのかというのが1点。 もう1点、1ページ目のところで、訪問入浴介護が計画値より増えているということで、重度の方が利用するサービスであるため、居宅で介護をしている方が増えてきているということなのか、教えてほしい。
事務局	総合事業は第7期の時がこの事業が始まった時で制度や要支援の方と要介護の方とのサービス体系が大きく変わったという時期だと思うが、当時の資料を見ても当時周知に努めていたとはあるが、実際の利用がそんなになかったということだが、制度自体は第7期が6、7年前だとして、ケアマネを始め、総合事業が大分浸透してきつつあると感じている。 ただ、見ていただくと、総合事業は介護相当と基準緩和型で分かれているが、特に介護相当が介護サービスだった頃のものをそのまま引き継いだ形に近いサービスでどうしてもこのサービスを多く利用されているという結果になっている。 要支援の方はなるべく基準緩和型でうまくリハビリをして、自立に繋がりたいと考えている。今後は基準緩和を積極的に取り入れたいとは考えているが、ひとまず第7期の制度の始まった時期と比較すると、周知の効果があったか利用は確かに多くなっていると思う。 もう一点の方は、訪問入浴介護が伸びているのは意外であったが、住民の地域性もあると思うが、在宅で頑張ってしまう傾向がある。 特養の待機者が各施設数名いるが、施設に空きが出て、待機者に連絡しても「まだ在宅で頑張りたい」という人も多いとのこと。私は10年前も同じ部署にいたが、同じ内容の話を聞いている。東郷町の地域性なのか、施設より在宅で頑張る家庭が多い印象。訪問入浴は重度の方が利用されると考えられる。地域性のある数値かとも思われる。
委員長	よろしいか。他はいかがか。
委員	私もこのデータで不思議だと思ったのは、このデータをどう読むかというのはとても難しいが、居宅療養管理指導が増えている。医者、歯科医師、栄養士、薬剤師などの内訳が分かるともっと分析できると思う。 私の実感だが、近隣のステーションではガン末期の患者が増えている。若い方（60・70歳台）そういう方は訪問入浴を使われている。訪問看護が医療になるため、ここのデータには出てこない。そこで、居宅療養管理指導と対比して、なにに居宅が使われているかを見ると分析できると思う。また、医療系の把握も必要では。また、重層的に考えても精神の方が増えているので、要支援者は精神が増えていると考えている。私の考えだが、原因がすっきりするといいなと思う。もっと細かく分析しないとわからない。 訪問看護連絡協議会では、災害時に役に立つよう医療が必要な方のリストを作成したく、役場の方で調査してもらっている。日進市も一緒にやっているので、日進もリストをどうしようかという話が出ている。全体として民生委員さんの活

	動、役場の活動と総合的に動いていく必要があると思う。
委員	先ほどの話の続きだが、資料1・3、介護予防日常生活支援総合事業の数字の見方ということになると思うが、おそらく東郷町だけでなく他の市町を含めて、支援の方がどういうサービスを使っているかということ。 特に、関与しなければ元々ある従来型のサービスをどんどん使用している人や、せっかくだから使おうという人でも、利用した結果、その方々の状態が改善するという状況があればよいが、他市町のところでもそのサービスの利用状況と改善状況が比例しない。結果的に状態維持改善に繋がらず、要支援の方が要介護になっていくという現状がある。 要支援の方だと可逆性がある。その方に専門職が適切に介入し、できるだけ維持・改善の状況にもっていきたいとなると、この場合だと、通所サービスCがそれにあたる。要支援の方の割合が増えている中で、その方達が出来るだけ悪化させないようにしようとすると、従来型のサービスが増えているという現状は、「介入が出来ていない」という状況だと思う。もちろん体制がすぐに整うわけではないが、そういう所を見ていかなければならない、そういう数字の内容だと思う。
委員長	ありがとうございます。何人かの委員さんから言っていたが、現課題と対策が少し見えてくるかなと思う。 議事が残っているので、最後にまとめてご意見いただきたいと思う。次に進めさせていただく。

(3) 各職能団体からの取組等の報告について

委員長	職能団体の取組の報告をお願いします。委員のみなさまの力量を信じてひとり2分をお願いしたい。指名された委員は順番に発言をお願いします。
委員	次の会議が入っているので、先に報告させていただきたい。
委員長	委員の皆さんそれでよろしいか。(異議なし。)では委員からどうぞ。
委員	民生委員の活動について報告する。東郷町地域防災計画に基づいた避難行動要支援者名簿の作成と運用について、現行名簿の見直しを依頼しており、現在作っている。今しばらくしたら新しい名簿が出来てくると思う。東郷町の避難行動要支援者名簿はこのような項目を載せなさいという、国の基準に沿って作られていないので、それに基づいて作るように現在協議中である。今年の12月くらいには形があるものが出てくると思う。そんな単純なものではないが、そういった形になっていくと思う。 もう1点、民生員は各小学校区単位で地域特性の把握と現状認識、民生員の悩み、問題の洗い出しをしており、これが発展して多職種ミーティングの参加が出来るようになった。民生員が完全に除外されていたので、ここに入れてほしいと言って、参加することになった。 それから、災害発生時の民生委員の取り組みについて、県の民生委員の方からも具体的にどうするか上がってきている。実際、東郷町民生員協議会の方でも文書化は行ったが、実践をどうするか避難訓練のようなものをどうしていくか計画

	中。今年の１２月に民生委員が変わる。それまでに具体的にどのように実行していくか計画案を作成しているので、新しい民生委員の時に活動していきたいと考えている。実際に災害が起きた時に、どのような活動が出来るか、地域協働課とも話し合って避難訓練等に参加したいと考えている。 民生委員とは何かというところが周知不足があるため、１２月以降に広報部を立ち上げる予定。来週木曜日までに計画案を出して話し合う予定。 引きこもり問題、ヤングケアラー、８０５０問題等があるが、これを取り組む前に現状の情報収集をどうするか悩んでいる。これらのあたりを関係機関と打ち合わせしている。教育長も変わり、教育委員会とも打ち合わせをしている。決まったら福祉課に報告する。 コミュニティスクールが各学校で始まっており、これに委員を巻き込んでほしいという要望を出している。
委員	現状は、訪問歯科診療の方を各歯科医院で取り組んでいる状況。ただ、なかなか窓口が分かりにくいとなっているが、基本的に支部長の私が窓口。また、かけはしも窓口になっているので、こちらから声かけがあった場合に、各会員に話を振ってこの事業をしている。 歯科医師会と東郷町と組んで、年１回北部と南部の地区に分かれてオーラルフレイル予防教室を開催予定。
委員	薬剤師会では、直接関わりないことだが、会長が代替わりするが、前会長もまだ活動するので、特に大きくは変わらないが個人的には大きく変わったことなので、紹介する。 災害時の情報連携ツールを薬剤師会でも採用していこうということで県の方から少しずつ登録が始まっている。地区でも始めているが、登録してくださいという周知も届かないので、引き続き進めていこうと役員で話をしている。東郷町では３名理事として自分と貴船薬局、リリーフ薬局になる。リリーフ薬局が会長となるため基本的な窓口になるが、３人で色々な会議に参加させていただいたり、何か薬剤師会として情報提供する必要がある場合は３人で相談したりと、やっていきたいと思うので、引き続きお願いします。
委員	東郷町には訪問看護ステーションがそんなにないので、日進市と合同で協議会を実施しているが、コロナを経てみんなで集まって色々なことをやっていきたいしモチベーションをあげていきたいと考えている。 ＢＣＰ作成もあり、書面だけでなく実際にやっていきたいと考えている。看護師は重症者を相手しているので、普段から危機感をもっている。日進市の方と一緒に話し合いをしている。そこで、要支援者名簿のことも話し合っているが、実際のシミュレーションがまだできていない。また、事業所同士の連携。自分たちの事業所が行けなかった場合に他の事業所が行くという契約をして進めている。 東郷町の訪問看護としては、町、やまびこなどの依頼で、学び舎や出前講座、まちかど運動教室などで医療介護の話、訪問看護の話、看取りの話、ＡＣＰの話などをしており、もしバナと人生１００年ゲームなども併せて実施。今年度もやっ

	ていきたい。
委員	個別地域ケア会議についてお話す。南部包括としては、昨年度年 6 回を目標としていたが、2 回しかできていなかった。 地域ケア会議は開催が目的ではなく、地域資源の開発のツールと思っているが、今年度は 8 回実施を目標にすでに日程も決めた。地域を回って民生委員や住民と話す中で、包括でも地域課題を肌で感じているつもり。この地域課題を包括で抱え込まないようにすることとした。9 日に部田山地区で民生委員や福祉課との話し合いがあったが、部田山地区での地域課題をみんな持っている状態なので、部田山地区での個別地域ケア会議を 6 月に開催予定。対象者と参加者もお願いしている状況。今月末は祐福寺の方を対象に実施予定。 第 2 層協議体も個別地域ケア会議でも「地域にこんなものがあつたらいいな」と考えている。協議体の方から出た意見をどこかの地域個別会議で話をしたいと考えている。
委員	やまびこは昨年 5 月から在宅医療介護連携推進事業の町委託を受け、推進している。今年度 2 年目に入り、専任職員を配置し、連携推進を進めている。医師会の新規入会される医師が増えており、在宅医療を実施する新規の先生が増えている。その先生とも関係性、顔の見える関係性を構築することと、さまざまな住民対象の出張講座や年 1 回のフェアなど実施をしていく。
委員	かけはしの方では、医療介護福祉、多職種連携の付与するような研修を実施。重点的な所で電子@連絡帳と災害を中心に「実際にやってみようということ」で実際に発災したと想定して電子@連絡帳上に入力してもらうなどの研修を実施。 電子@連絡帳を使用していない事業所からすると各業態の情報がそこにあると進むと思う。入所施設、訪問施設でも取り入れてもらうようにこれから周知していきたい。
委員	健康支援課は 2 つのグループがある。1 つは難病患者支援や結核患者支援などを行っている。もう 1 つは、毎日相談対応、ひきこもりやアルコール、自殺対策など主な業務としている。6 市町を管轄しており、広いためいろいろな体制が進むよう協議の場を作ったり、研修をしたりしている。 あまりうちの課と関係ないが最近、万博開催 20 周年記念イベント実施しているが、そこにも協力している。
委員	主に健診や健康づくりのお手伝いする部署。今年度新規事業として、以前から住民から要望が多かった带状疱疹予防接種を実施。5 年間の内に 65 歳以上の方がすべて接種できる計画になっている。 また、75 歳以上の後期高齢者に対する保健事業も実施しており、その内のハイリスクアプローチを実施。長寿健診の結果のデータに基づいて、低栄養、糖尿病のコントロールが必要な方に対して保健指導を実施し、その後の状況も確認し、2 度 3 度その方がどのようなになっているか追っていく。健診の部門では医療のデータや健診のデータがわかるので、その所でアプローチができると考えている。今までは、面談を通して実施していたが、やはり家庭訪問が必要だろうというこ

	とになったため、今年度から家庭訪問にも力を入れていく。 その中で分かってきたことは、低栄養の方は案外1人暮らしで人との交流がない方がみえることが分かった。すぐになるべくハイリスクアプローチを行った方は高齢者支援課で行っている通いの場などに繋げていくというのが一番の目標になるが、なかなかそうもいかず。健診も受けられる元気な方であるが、低栄養で、一人暮らしで、孤独で。そういうところに色々問題があるのではないかということが分かってきた。まだ始めたばかりだが、丁寧に行っていくと色々分かることが出てくるかなと思う。この事業のいいところは自宅に訪問するので、低栄養など色々な方をすぐに地域包括支援センターに繋げたり、高齢者支援課とも連携を取りながら実施できたりするところ。 データに基づくため、意外に受け入れもいいので、丁寧にやっていきたい。
委員長	多くの方に取組の説明をしていただいた。もっと取組みを詳しく説明していただければいいのだが、皆さん時間を守っていただいた。また、この件について質問等ありましたら次回以降にお願いします。取組みは着実にこれからもすすめていくということになると思うので、それぞれの団体の方よろしくをお願いします。報告はここまでとさせていただきます。

5 議題

東郷町の地域課題について

事務局	私共の報告事項が長時間となりまして、予定の時間をかなり過ぎた状況であるため、今回の議題にある「東郷町の地域課題について」はじっくりお時間を取って皆さんに協議を図りたいと思うので、こちらの議題については、もしよろしければ次回の会議でじっくり皆様のご意見を聞きながら進めていきたいと考えているが、いかがか。
委員長	承知した。事務局の方からあったように、確かに地域課題は今後第9期の残りの1年半もあり、次の第10期にもつながるものである。資料からも分かるとおり、より具体的に見えてきたものがある。具体的な課題が見えれば見えるほど対策はなかなか難しいということもわかる。そこで少し時間をかけておこないたいという事務局側と私も同じ考えであるが、もし委員の皆様にご了承いただけるのであれば、次回に会議に持ち越しさせていただきたいが、いかがか。
委員	(異議なし)
事務局	それではそのようにさせていただきます。大変申し訳ない。

6 その他

委員長	今回は報告のみとなるが、何かご意見等あれば次回以降にお願いしたい。進行を事務局へ戻す。
-----	--

事務局	次回の地域ケア推進会議は令和7年8月22日午後2時から町民会館2階大会議室を予定している。開催前に正式に通知する。 また、第1回在宅医療・介護連携推進部会は令和7年6月6日午後2時からを予定。部会員の皆様は出席をお願いする。 長時間にわたりご審議いただき、ありがとうございました。
-----	---

以上